

私たちは「機械系ものづくり女子」

(前編)

一人で作ってしまったほど好き
で、細かい作業に没頭して完
成した時の達成感、いいもの
ができた時に「よっしゃー！」
という喜びを感じています。
兄の影響で私も工業科のあ
る高校に進学しました。工業
科の同年女子は3人でした
が、男女関係なく扱われたこ
とが心地よく楽しかったで
す。女子3人で課題研究に取
組む、アルミ板を加工して
カプトムシを制作した思い出
があると思います。
また、資格取得は自分のた
めになると思えば積極的に取
組んだ結果、高校在学中に3
級機械加工技能士(普通旋盤
たほうが良い)と言われ、自
分がやってみたくと思った分
野が機械系でした。

今回から2回連載で、秋田
職業能力開発短期大学校生産
技術科1年生の「ものづくり
女子」3人を紹介します。
長井鈴世(りんぜ)さん、白
根七海(ななみ)さん、小椋
由稀(ゆき)さんです。
彼女たちは何がきっかけで
「ものづくり」の世界に興味
を持ち、どのような想いで
「ものづくり」を学んでいるの
かについて聞いてみました。

長井鈴世さん 私が初めて
「ものづくり」をしたのは、小
学4年生の頃です。自宅の屋
根に住みついている小鳥が落
ちてくる様子を見て「かわい
そう」と思い、父にお願いして
一緒に巣箱を作りました。最
初は不慣れで難しかったけれ
ど、完成した時に得た達成感
を今でも覚えています。
父が営む工場で遊ぶことが
多かった私にとって、「もの
づくり」はとても身近なもの
でした。中学生の頃になる
と、父の仕事の手伝いをする
ようになっていたのもごく自
然な流れです。手先が器用な
父は、いろいろな道具を自在
に操ることができます。そん
な父の姿に魅力を感じていま
す。また、「ものづくり女子」
としてすでに活躍している努
力家の姉も尊敬しています。
そのような環境で育った私
は、工業科のある高校に進学
しました。そこで初めて触れ
た工作機械の旋盤に楽しさを
感じました。「最初は難しかっ
たけれど、慣れてきたらでき
るじゃん!」と、それまでは男
子にしかできないと思ってい
たものが、女子でもできるこ
とを体感しました。「男女関
係なく、むしろ(男子に)負け
てないぞ」とさえ思えました。
旋盤加工の魅力は、寸法の
精度目盛を確認しながら、手
先の感覚で削っていくところ
です。精度をあげて技術を高
めていくことが楽しくなり、
さらに資格取得を目指して高
校在学中に3級機械加工技能
士(普通旋盤作業)に合格しま
した。

秋田職能短大 生産技術科

長井 白根 小椋
鈴世 七海 由稀

白根七海さん 私は小さい頃から手を動かす作業が好き



左から小椋さん、白根さん、長井さん

小椋由稀さん 私の小さい頃
の夢は科学者でした。自然
に囲まれた環境で育ちサイエ
ンスに興味がありました。そ
のため、科学の道をイメージ
して高校は普通科に進学しま
した。
その一方で、小さい頃から
好きだったのが、ガンダムや
ダンボール戦機などのロボッ
ト系アニメです。そのアニメ
を見ては「機体がかっこいい
とかきれいだとか、実現で
きたらロマンだな」と思いワ
クワクワしていました。小学
生の頃には、ガンダムのプラモ
デルを作るほど好きでした。
たまたま友人が在籍してい
て勧めてくれた秋田職業能力
開発短期大学校を知り、「科
学の道もいいけれど、機械の
ことも学んでみようかな」と

秋田職業能力開発短期大学校
生産技術科 講師
村上 佑太
就職支援アドバイザー
伊藤 孝子